

指定校番号	28062	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立吉和小学校	校長	津田 秀司	生徒指導主事	高岡 和也
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『チャレンジランキング大会』

取組のねらい『キーワード 自発的・自治的活動』

- 異学年集団の中で仲良く、協力し、信頼し支え合う。
- 集団の一員として自分の役割を果たす。
- 学校生活を楽しく豊かにするための活動を、自発的・自治的にやりきる。

取組の具体的内容『キーワード 異学年交流』

○縦割り班（全 20 班）ごとに校内オリエンテーリングを行う。

- 開会式
- ①班ごとに体育館に集合
 - ②児童会「はじめの言葉」
 - ③ルール説明



- ⑤各班とも、5年生を中心に、ルールを守って静かに待つ。



翌日の児童集会で、結果発表と表彰を行う。



- ④オリエンテーリング
6年生の考えた 10 種類（ジェスチャーゲーム・伝言ゲーム・バスケシュート・ボーリング・缶タワー・魚釣り・イントロドン・聖徳太子・どれだけのれるかな・宝探し）のゲームが用意されている教室を回り、得点を積み重ねていく。



聖徳太子

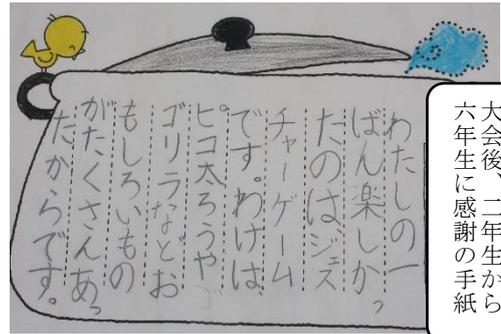


どれだけのれるかな

- 閉会式
- ⑥再度、体育館に集合
 - ⑦児童会「おわりの言葉」

取組の課題・創意工夫『キーワード 自主的な企画運営』

- 児童会・6年生が中心になって企画運営させる等、自主性を大切にさせた。
 - ①児童会役員から「チャレンジランキング大会」について提案した。(代表委員会)
 - ②児童会役員が6年生全員に提起した。
 - ・係・役割分担の決定をした。
 - ・ルールを決め、全児童に周知し、自分たちで守らせた。
 - ・ゲーム等の準備物作りをした。
- 5年生がオリエンテーリング時のサポートをした。
- 児童自身が活動の評価をし、各班に手作りの賞状を渡した。
- 低学年から6年生へ感謝の手紙を書かせた。



大会後、2年生から6年生に感謝の手紙

取組の成果（効果）『キーワード 自己肯定感の高まり』

- 内容や役割分担、ルール作りなど自己決定の場や機会を多く設定することができた。
- 一人一人の思いや願いを大切にしてい取り組んだことで、自己存在感を高めることができた。
- 高学年（6年生・5年生）一人一人が役割を分担し、協力して活動することができた。
- 協力し助け合って取り組んだり、互いのよさを認め合ったりすることで、共感的な人間関係を育てることができた。
- 上級生が下級生のことを思いやり、下級生が上級生をよい手本にしなが楽しい活動することができた。
- 自分たちで決めたルールを守ることで規範意識が高まった。
- 高学年としての責任や自覚、リーダーシップ等を、6年生から5年生に引き継ぐことができた。
- 自己肯定感が高まった。

チャレンジランキング大会後のアンケート集計 6年生・5年生 (73人)

1 1	2 2	3 3	4 4	1 2 3 4			
				1	2	3	4
① (6年生)先生の手をかりずに、自分たちで考え計画したチャレンジランキング大会をすることができた。(5年生)来年も、自分たちで考え計画して楽しいチャレンジランキング大会にしようと思った。	人数	61	11	1	0		
	%	84	15	1	0		
②一人一人の思いやねがいを大切にしたチャレンジランキング大会をすることができた。	人数	49	20	4	0		
	%	68	27	5	0		
③高学年（6年生・5年生）一人一人が役割を分担して、協力して活動することができた。	人数	62	9	1	1		
	%	86	12	1	1		
④高学年（6年生・5年生）が手本となり、低中学年（1～4年生）を思いやりながら活動することができた。	人数	56	16	1	0		
	%	77	22	1	0		
⑤チャレンジランキング大会中のルールは自分たちで決め、低中学年（1～4年生）に守らせることができた。	人数	44	24	4	1		
	%	61	33	5	1		
⑥高学年としての責任や自覚、リーダーシップを6年生から5年生に引きつぐことができた。	人数	50	19	4	0		
	%	69	26	5	0		
⑦チャレンジランキング大会後、あなた自身に達成感（やり切った）や満足感（やってよかった）がわいてきた。	人数	60	7	4	2		
	%	82	10	5	3		
⑧この大会を通して、あなた自身が成長した。	人数	57	11	4	1		
	%	79	15	5	1		

今後の展開『キーワード 5年生につなげる』

- 3学期後半、5年生中心の児童会活動（2月14日：平成29年度前期児童会選挙運動開始、2月21日：前期児童会選挙役員選挙、3月1日：児童会役員引継ぎ式、3月8日：6年生を送る会）につなげる。
- 児童会月間生活目標やあいさつ運動強化週間等に生かす。例：2月の生活目標「他の学年にやさしく声をかけ、元気なあいさつをしよう」

他校へのアドバイス『キーワード 線にする取組』

- 学校行事や特別活動が、年間を通して生徒指導の三機能を育むための取組になっていることが大切である。
- 4月：遠足（1年生を迎える会）→5月：運動会（応援合戦）→8月：宿泊体験学習（体験学習）→9月：修学旅行・社会見学（校外学習）→10月：学習発表会（全校合唱）→11月：社会貢献活動（地区児童会）→12月：チャレンジランキング大会（オリエンテーリング）→3月：6年生を送る会（各学年の発表）